

城岳同窓会



「2024年の同窓会活動について」

城岳同窓会会員の皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。

平素より同窓会の活動にご理解・ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

城岳同窓会は県内高校同窓会の中でもいち早く法人化して「会員相互の親睦」「母校支援」「地域社会への貢献」を目的に年度事業計画・予算を策定し諸事業を展開しております。

本年の主な事業を紹介しますと、2月には在校生を対象にこの1年間部活等で顕著な成果を挙げた部や個人を「城岳賞」として表彰しています。3月の卒業式では同窓会から記念品として卒業証書入れフォルダー、4月の入学式にはクリアファイル（校章、校歌入り）を全員に贈呈しています。春休みには「海外短期留学プログラム」として国際的視野を広げてもらうため1年生2名を公募で選考し事前学習を経てハワイの高校に3週間派遣しています。これまで4回7名派遣しました。ハワイ滞在中はハワイ城岳同窓会、沖縄県人会連合会に大変お世話になっています。又、A氏奨学金制度で県外大学進学者2名、県内大学進学者1名に奨学金を給付しています。これまでに16期46名に給付してきました。この二つの事業は二中卒業生A氏から匿名で多額の寄付を頂き実施しております。A氏については別途ご紹介します。

毎年5月に行う定時社員総会後に懇親会を開催しています。懇親会には大先輩から若手まで毎回600名～700名の参加があり、卒業60周年を迎える先輩方のお祝いも兼ねて行い、久しぶりに会う先輩、同級生、後輩との交流で賑やかな懇親会となっています。最後に全員で声高らかに歌う校歌斉唱は世代を超えて同窓生同志の絆を深めてくれ

一般社団法人 城岳同窓会会長

宮里 博史（21期）



ます。懇親会の企画・運営は卒業30周年を迎える期が担当しています。

6月23日慰霊の日には「二中健児の塔」慰霊祭を城岳公園で行うほか前日には在校生が城岳公園、二中前通り、島田叡氏業績顕彰碑（奥武山公園在）の清掃を行っています。在校生にとっては「平和学習・地域貢献活動」体験の場でもあります。

毎年10月の那覇高校創立記念日には在校生向けに「城岳講座」を開催して県内各分野で活躍している同窓生が「先輩からのメッセージ」として講話をしています。

11月には新型コロナ禍中断していた「那覇・首里対抗スポーツ大会」を5年ぶりに開催する予定です。

那覇高校は旧県立第二中学校として1910年に創立されて本年で114周年を迎えました。その間4万7千名余の卒業生を輩出し、それぞれ県内外各分野で目覚ましい活躍をしております。毎年の叙勲や県功労章等公的な表彰を受けられた方、企業や団体の要職に就かれた方、著作を発表される方も多数おられることは同窓会、在校生にとっても大変喜ばしくかつ誇りとするところであります。

これら同窓会の活動や同窓生の活躍状況、那覇高校の近況は同窓会ホームページや会報誌、那覇高校ホームページで紹介しておりますので是非ご覧ください。

このような同窓会事業が行えるのも同窓生皆様の熱い母校愛と県内屈指の名門高校として輝かしい実績と伝統を築いてきたからといえます。

ごあいさつ

那覇高等学校 学校長
福地 修

城岳同窓会会員の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本校は旧制県立第二中学校時代を含め、創立114年目を迎える県内屈指の伝統校です。これまで県内外はもとより国外においても政治、経済、社会及び文化等の各界で活躍する多くの人材を輩出してきました。そのような長い歴史の中で、城岳同窓会が果たしてきた役割も非常に大きいものがあると考えます。私たち教職員も、校訓「和衷協同・積極進取」の下、先達が築いてきた伝統を礎に文武両道を実践し、これからの時代に求められる幅広い知識・技能と豊かな人間性を備えた人材の育成に邁進していく覚悟です。

学校の現況ですが、まず4月8日に城岳同窓会宮里会長、比嘉副会長、與儀事務局長のご臨席を賜り、新入生400名を迎え第80回入学式を挙行いたしました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行されたこともあり、学校行事も全校生徒が一堂に会して行われるなど、コロナ禍以前の状態に戻してきました。この間、新入生歓迎球技大会や校内弁論大会、芸術鑑賞会等を当初の計画通り行うことができ、通常の学校生活に戻っております。

生徒の活躍もめざましく、県高校総体では、学校別順位において男女総合3位、女子総合2位、男子総合5位と大健闘しました。卓球男子ダブルス優勝及びシングルス準優勝をはじめ、水泳女子総合2位、陸上女子及び水泳男女での個人種目1位及び2位、テニス女子団体、サッカー女子、剣道女子、弓道男子団体、バドミントン女子ダブルスで3位、その他競技も多数の上位入賞を果たし、九州・南九州大会や全国高校総体の出場権を得ています。

文化系では、放送部がNHK杯全国高校放送コ

ンテスト沖縄大会
ラジオドキュメン
ト部門で最優秀賞
に輝き、全国大会に出場します。



3月に卒業しました第77期生は、県内外の国公立大学に148名の合格、県内私立大学(短大含む)に130名、県外私立大学(短大含む)に165名の合格と、進学においても大きな成果をあげております。

今年度は第32回体育祭を9月21日に開催予定で、現在はテーマ及びスローガンや実施種目の検討を行っているところです。2学期から練習を行う計画で、全校生徒が心一つにして、行事の成功に向けて一生懸命頑張ってくれると思います。

また、7月には米国姉妹校(ネイサンヘイル高校)交流プログラムで生徒12名、引率教諭2名を受け入れており、この事業も今年度で49回目を数えます。

昨年2月から3月にかけて城岳同窓会の第4期海外ショートステイ・プログラム(SAP)事業も、2名の生徒を派遣していただきました。城岳同窓会の皆さまには、この他にも城岳講座の講師派遣やA氏奨学金の給付、城岳賞の授与等、多くのご支援をいただき、感謝申し上げます。

社会はグローバル化、デジタル化等の変化の時代を迎え、学校には、個人の自立と他者との協働を図るための主体的・能動的な力の育成や、新たな価値を創造する人材の育成が求められています。このような激変する社会に対応できる人材の育成に向けて、学校と保護者、同窓会、地域及び関係機関が一体となった教育活動が今まで以上に必要であると考えております。

城岳同窓会の皆さまには、引き続き本校教育の充実に際してご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後の城岳同窓会のますますのご発展と会員の皆さまのご健康とご活躍を祈念申し上げ、あいさつといたします。

城岳賞（2024年2月29日）

2023年度（令和5年）の城岳賞は全国大会へ出場する等優秀な成績をおさめた女子バドミントン部の鳥袋 麟（リン）さんへ贈呈。



比嘉正彦副会長から城岳賞を贈呈。



続いて副賞を贈呈。

卒業式・同窓会入会式（2024年3月1日）

2023年度（令和5年）第77回卒業式を那覇高校体育館に於いて、今年からは従来とおりに保護者・在校生・来賓等入場制限なく挙行されました。



77期生391名が堂々と整列



在校生からの送辞



卒業式終了後の城岳同窓会入会式



学年幹事の田原泰斗君と喜屋武充希君から力強い宣誓

A氏（新垣泰一氏）ご逝去について

一般社団法人 城岳同窓会
会長 宮里 博史

城岳同窓会に匿名で多額の寄付をして頂いたA氏は2023年10月15日に享年95歳でご逝去されました。大変残念でなりません。謹んで哀悼の意を表します。

同窓会が実施している「母校支援」の中で「A氏奨学金給付」と「ハワイ短期留学派遣」の二つの事業はA氏から頂いた寄付金の運用益で実施しており、これまで多大な成果を上げてきました。その功績は誠に顕著なものでありますのでいつまでも匿名にしておくこともできませんのでここにA氏の経歴と功績を紹介いたします。

A氏こと新垣泰一氏は昭和3年生まれ、那覇市久米のご出身で旧県立第二中学校32期生（昭和20年卒）です。二中卒業後上京し当時の食糧庁で働きながら早稲田大学第二政経学部に進学され苦学して卒業し、日本濾過機株式会社に就職。その後外資系の日本ドナルドソン株式会社（フィルター専門の会社）に転職し役員、社長を歴任して60歳で退任。故郷沖縄に戻って那覇市松尾にご夫婦で暮らしていました。

2007年に同窓会に「母校の後輩のために寄付をしたい」との連絡がありお伺いしたところ新垣氏から「大学で学ぶには金がかかる。自分は働きながら夜学に通い大変苦労した。後輩達には金銭面で苦労せずしっかりと学業に励んで貰いたい。寄付は匿名にしてもらいたい」ということで1億円の寄付をしていただきました。

同窓会では早速学校側と協議して「A氏奨学金制度」を制定し2008年から給付を開始しました。制度の概要は那覇高校生徒で世帯収入が一定範囲内のものに対し県外大学進学者2名に1年間48万円、県内大学進学者1名に1年間24万円給付するものです。その後二中・那覇高校創立110周年を

迎えた2020年からは県外60万円、県内36万円に増額しております。A氏奨学金の給付はこれまでに16期46名に給付してきました。既に30名余は大学を卒業し社会人として活躍しております。

新垣氏から、その後2017年に追加で5千万円の寄付を頂きました。これについては新垣氏から「今後グローバル化の時代となる。後輩たちの国際的視野を広げるために使ってもらいたい」との要請でしたので学校側と協議して「海外短期留学制度（SAP）」を制定しました。概要は1年生2名を公募で選考してハワイの高校に春休み期間3週間派遣して、体験入学・沖縄県人会関係者宅にホームステイするものです。これまでに新型コロナ禍中を除き4期7名派遣してきました。

このプログラムに参加した生徒にとって生涯忘れることがない貴重な体験ができたこと、そして将来の目標への足掛かりになることと思います。

奨学金受給者及びハワイへの派遣者は新垣氏にお会いする機会はありませんでしたので都度報告文、感想文を書いてもらい新垣氏に届けてきましたが、新垣氏、奥様も毎年それを読むことを楽しみにしておりました。今後は墓前に報告することを検討したいと思います。

同窓会独自でこのような事業を実施できるのも新垣氏のお陰であり、2020年の二中・那覇高校創立110周年の際には功労者として感謝状を贈呈いたしました。こうした篤志家が先輩におられることを誇りに思います。今後ともこの制度をしっかりと運営して新垣氏の期待に応えられるようにしなければなりません。

改めて新垣泰一氏の多額の寄付に感謝し、ご冥福をお祈り申し上げます。又奥様のご理解にも感謝申し上げます。

A氏奨学金 第16期生

城岳同窓会は「学業・人物ともに優秀で経済的理由で、学業継続が困難な者に対して奨学金を給与する事により、地域社会や同窓会へ貢献できる優秀な人材を育成する。」事を目的に奨学生を募集する。平成20年にA氏奨学金制度がスタートして本年で16年目を迎え、その間46名が希望する大学へ進学し、海外へ留学する等多くの奨学生が優秀な学生・社会人として県内外で活躍しています。本年卒業した77期生の中から3名を第16期奨学生として決定した。

A氏奨学金 第16期生

内間 あやらさん 九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科
親里 優吾さん 埼玉大学 経済学部 経済学科
古堅 夢果さん 琉球大学 教育学部 学校教員養成課程
小学校教育コース 学校教育専攻

奨学金支給額

県外：月額 50,000円×12月（年額：600,000円）

県内：月額 30,000円×12月（年額：360,000円）



與那覇博明副会長から保護者へA氏奨学金制度を説明をする。



左から内間あやらさん、與那覇博明副会長、親里優吾さん、古堅夢果さん

三宝堂 コイン・スタンプ

山城広成(23期)

〒900-0013 沖縄県那覇市牧志1-1-1
TEL(098)867-1541
営業時間 AM 10:00~PM 5:30
(毎週日曜日 定休日)

Fantasy

"小さな笑顔、応援します"

ベビー・子供服 ファンタジー

代表 萬田実(32期)

レインボーガーデン・ピンクピンク 那覇メインプレイス 2F
ファンタジーライカム イオンモール沖縄ライカム 4F
プリンセスパーティ イオンモール沖縄ライカム 4F
ブリーズライカム イオンモール沖縄ライカム 4F

第4期 海外ショートステイ・プログラム(4th SAP)

新型コロナウイルスが第5類に移行され、海外渡航に向けたワクチン接種証明が不要になりハワイへの入国が以前の様になった。今年もKalaheo High SchoolとIolani Schoolの2校がHost Schoolとなり、Host Familyも昨年同様にMr. and Mrs. William Good Speedさん宅へ3週間2人の生徒がお世話になりました。

派遣生徒（1年生）＝大城夕佳（Yuka Oshiro）、宮里萌愛（Moa Miyazato）

- ・ Host Family = Mr. William Good Speed…… 2024年3月2日～3月19日
- ・ Host School = Kalaheo High School ……… 2024年3月4日～3月8日
Iolani School …………… 2023年3月11日～3月14日
- ・ Activities …………… 2024年3月15日～3月19日

Kalaheo High School



Kalaheo High School正面



左からJames Rippard校長先生はじめお世話になる先生方とHost Students

Iolani School



Mr. Chris Shimabukuroが校内を案内



初日からIolaniの仲間たちとlunch



Host FamilyのStella and Billさんとデザートと一緒に。



2023年8月に発生したマウイ島火災へ支援金をハワイ城岳同窓会へ寄託した。

入学式

(2024年4月7日)

今年は入場制限が緩和され吹奏楽演奏で祝福の手拍子に合わせ堂々と入場した。



第80期生400人が整列。



福地 修校長先生から入学許可。

キックオフ

(2024年1月20日):同窓会館

2024年度の定時社員総会・懇親会は新垣守泰氏を実行委員長として46期生が、「時を超え 世を超え つなぐ 広がる 結いの心 ぐすーじさびら17期生」のキャッチコピーで取り組んだ。



定時社員総会

(2024年5月25日):沖縄ハーバービューホテル



宮里博史同窓会長からA氏の業績を紹介。



富原加奈子監事による監査報告。



嘉数昇明顧問による「カリーさびら」のご発声



卒業60周年の17期生を参加者全員で祝う。



「二中校歌」を堂々と謳う高良健二氏（二中35期生）



総会・懇親会を見事に成功させた実行委員の46期生と次期実行委員の47期生。



那覇高校の歴代校長先生
左側石原啓（27代）、名嘉山興武（21代）、森田邦弘（25代）、
福地修（28代）

慰霊祭（2024年6月23日）

「鉄の暴風」が吹き荒れ、島全体が焦土と化した沖縄戦では、那覇高校の前身である県立第二中学校においても187名の学徒と9名の引率教諭が尊い命を散らしていった。戦後79年目の慰霊の日に、先輩方の冥福を祈り、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、平和を祈念し城岳公園で慰霊祭を挙行了た。



護国寺名幸定海住職と武陽会新居大典理事長による「読経」



喜友名健太生徒会長による「誓いのことば」



赤嶺一氏による「遺族代表挨拶」



参列者150人が「ご焼香」



培った志で沖縄の未来を紡ぐ

琉球新報社専務取締役

松元 剛 (37期)

胸を躍らせて、文武両道的那覇高校の門をくぐったのは1981(昭和56)年4月でした。当時の区域制全面施行の前年度で、寄宮中学校から最後に入学できた14人のうちの1人でした。暴れん坊でいきがる生徒が多い寄中から入った私の学生ズボンの股上は70センチもありました。那覇や上山、神原中から来た同期の男子は股上が浅い細身のズボンをしなやかに着こなしていて、袴を着て殿中を歩いているような自分のいでたちが恥ずかしくなり、母親に泣きつき、丸国マーケットで細身のズボンを新調しました。那覇高の洗練された雰囲気にとじろいだ記憶はまだ鮮明です。

「和衷協同」「積極進取」の校訓が息づく自由闊達な心地良い校風の下、バレーボールの部活動に没頭しました。

3年次の7組は人間味あふれるクラスでした。自分をさらけ出し、意見をぶつけ合い、切磋琢磨したメンバーの絆は強く、「未来の沖縄をどうしたいか」という硬い話から、恋愛や人生論まで存分に語り合いました。同級生は宝物です。37期生の3年7組が37歳を迎える2002年3月7日の平日にクラス会を催すと、本土で暮らすメンバーも含め30人余が集まり、朝方まで盛り上がりました。

沖縄県紙の一翼を担う琉球新報が私の職場です。編集局員として長く取材現場にいました。取材相手の方が城岳同窓と分かった途端、親近感が湧いて話が弾みます。沖縄社会の中でしなやかに強く息づく那覇高出身者の人脈の厚さがいかに大きいかを肌で感じます。4人の子のうち、2人が那覇高校を巣立ち、PTA副会長も務めさせてもらったことにも母校との深い縁を感じています。

米軍基地問題をライフワークとして長く追い、ジャーナリズムに関する著書が数冊あることもあって、今年6月、慰霊の日を前にした母校の平和教育講演会の講師に招かれました。恩返しできればと、「ウチナーンチュの命の重さ—戦後79年 主権者として向き合う」をテーマに、沖縄戦

や沖縄の米軍基地問題について話しました。気ぜわしい6校時に全校生徒が体育館に集まってくれましたが、居住まいを正した聞く姿勢の良さが際立ち、生徒代表の中野はるさん(2年)が「話していただいた事実を自分ごととして捉え、命^{めい}どう宝の言葉に従い、家族や友人を大切にしていきたい」と感想を語ってくれました。素晴らしい後輩たちが育っていることに感慨が湧きました。

ウチナーンチュの人権、命を脅かす基地問題や子どもの貧困などの不条理と豊かな可能性が混在する沖縄社会は歴史的岐路に立っています。インターネットやSNSを介し、事実ではないフェイクニュースがあふれ、沖縄をおとしめたり、誹謗する言説もはびこっています。県紙には、記者たちが汗をかいて現場を駆け巡り、真偽が検証されたファクト(真実)を県民に届ける変わらぬ使命があります。那覇高校を起点に培った志を忘れず、沖縄の報道人として腰を据えた活動をすることが沖縄のあるべき未来を紡ぎ出し、母校への恩返しにもつながると考えています。



那覇高校「平和講演会」

与那国町役場 総務課

アリハマ ヤスクニ
参事 **東浜 安邦 (32期)**

技術士：建設部門(土質及び基礎)
総合技術監理部門

〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町字与那国129番地
電話(直通)：0980-87-2241
FAX：0980-87-2115
e-mail：yasukuni-a@town.yonaguni.lg.jp



(株)ステージングアップ沖縄

代表取締役 **仲本 貴博 (61期)**

〒900-0031 那覇市若狭2-14-12
TEL(098)917-5070
FAX(098)917-6210



書いて・話して・歌って

クマノミデザイン 代表／美ら島沖繩大使（沖縄県観光大使）

宮里 英克（44期）

1972年生まれの復帰っ子、44期の宮里英克と申します。『書いて・話して・歌って』首都圏から、沖縄の魅力を発信する活動しております。

『書いて』は、首都圏を中心に約150箇所にて配布しておりますフリーペーパー「ハイサイ！ウチナータイム！」の編集長として。弊誌は、沖縄のアンテナショップ「銀座わしたショップ」さんや、沖縄居酒屋さんに置かせていただいております。沖縄が誇る様々なカルチャーを紹介する連載が好評です。50期の映画監督宮平貴子さんも沖縄映画について原稿を書いています。

『話して』は、沖縄修学旅行の事前学習講演です。これまで全国の中高校130校を訪問しました。歴史や文化、平和についてのお話をしています。事前に沖縄についての学習をすることで、修学旅行が実り多いものになるように心がけています。

最後の『歌って』は、三線の演奏者としての活動です。三線教室の主宰やライブ活動などを通して沖縄の魅力を発信しています。コロナ禍に制作したYouTubeでの三線練習動画の登録者が1.3万人となりました。ステイホームの期間が少しでも心穏やかに過ごせるようにと願いながら制作しました。おかげさまで三線愛好家の仲間が、全国に、世界中に増えました。

ありがたいことにこれまでの活動を認めていただき、今春沖縄県の観光大使『美ら島沖繩大使』の認証を受けました。僕には身に余る肩書きではありますが、「これからも沖縄のための活動を頑張るってね」という叱咤激励だと受け取り活動に励んでおります。

那覇高校に在学時には、とても今のような状況を想像できませんでした。大学進学で上京しましたが、どのように生きていけば良いのかわからず、かなり迷走していました。三線を片手に海外を放浪していたこともあります。旅先で

いろんな方によくしていただきましたが、その時に教えてもらったのは、「受けた恩は次に会う人に返せば良い」ということでした。様々な方との出会いから大切なことを教わりました。

現在は、東京沖縄県人会の理事として会報誌「おきなわの声」編集長としても活動をしています。「おきなわの声」は1979年から発行されています。沖縄の情報が簡単に手に入らなかった当時、東京のウチナーンチュにとっても貴重な情報媒体だったと聞いています。「おきなわの声」には、力を合わせて頑張ってきた先輩方の歴史が刻まれています。

いま東京で沖縄出身の僕らが不自由なく生活できているのは、頑張ってきた先輩方のおかげでもあると強く感じています。僕の役割は先輩から受けた恩を次の世代に返すこと。東京から沖縄の発展に貢献することだと思っています。いろんな方の力を借りながら、これからも沖縄の魅力を発信してまいります。同窓のみなさま東京のウチナーンチュをよろしくお願いたします。



美ら島沖繩大使・デニー知事と



仲里歯科医院

歯科医師 仲里 正博（19期）

〒900-0033 那覇市久米1-25-10
TEL 098(862)8241
FAX 098(869)9686
E-mail nakazatoshikaiin@yahoo.co.jp



西町クリニック

NISHIMACHI CLINIC

●小児科 ●内科

医学博士 真栄田 篤彦（21期）

〒900-0036 那覇市西3丁目4番地の1 アーバンビュー西町
TEL.(098)867-0010
FAX.(098)860-3285
E-mail atsuhikomaeda2298@gmail.com



町医者のような司法書士に

司法書士法人想いの樹 代表

新城 優子 (52期)

皆さん、こんにちは。52期の新城優子です。この度は、同窓会の記念すべき会報第30号に寄稿する機会をいただき、心から感謝申し上げます。

私は現在、那覇市壺屋で『司法書士法人想の樹(うむいのき)』を開業しております。

平成18年に5回目の受験で司法書士試験に合格しましたが、司法書士の補助者をしていた時代を含めると、約20年程この業界に携わっていることになります。

活躍する諸先輩方が多いなか、まだまだ道半ばの状態であると思いますが、私はこの司法書士の仕事が好きで、一生を捧げてもいい天職だと思っています。

なぜ、これほどまでに魅了されるのか。私が司法書士になろうと思ったのは、小学校低学年の時。石垣島で司法書士の補助者をしていた母を見て育ったのがきっかけです。家で勉強している母の姿、沢山の依頼者の方々から「ありがとう」と感謝される姿が印象的で、私も母のようになりたいと思い、高校卒業後は、迷わず法学部に進学、法律の勉強を始めました。

ところで皆様は、司法書士と聞いてどのようなイメージをお持ちでしょうか？高校生や大学生向けに何度か講義をしたことがありますが、弁護士と比べるとはるかに認知度が低く、他の専門士業との境目が分かりにくいようです。

私は、司法書士は町医者のような存在だと思います。通常、風邪かなと思ったら、すぐには大病院に行かず、近くのクリニックを受診しますよね。そして、そこで治療できるものもあれば、耳や目が痛いとなれば、専門医がいる耳鼻科や眼科に。より精密検査が必要で、大きな手術が必要となれば大病院へ行くとします。

それが法律の世界だと、まず困ったことや分からないことがあれば、司法書士事務所へ。そこで解決できる問題もあれば、より専門的な問題は税理士事務所や社労士事務所

などへ。もっと複雑で大きな問題であれば、弁護士事務所にも繋いでもらうといいと思います。

私の事務所では、法律専門家としての敷居は極力低くし、専門用語もあまり使わないように心がけています。何から相談していいか分からない問題でも、一人ひとりの想いを大切に、一緒になって考えます。一度でも利用して頂いたお客様のカルテは大切に保管しておりますので、何度でも安心して来て頂けます。

社会には、法律を知らないがために損をしている人や、苦しんでいる人、悩んでいる人達が沢山いらっしゃいます。私が今まで培ってきた知識や経験が役に立つのであれば、これほど嬉しいことはありません。

多くの人に笑顔になってもらうため、これからも、感謝の気持ちを忘れず、町医者(身近なかかりつけ医)のような司法書士を目指して邁進していきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。皆様の今後のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



事務所外観

心療内科・精神科

かなでクリニック

棚原 一哉 (23期)

那覇市久茂地2丁目6-20
TEL (098) 866-6633



医療法人げんき会

伊志嶺整形外科

HP: genkikai.coolblog.jp

伊志嶺 隆 (26期)

〒900-0015 那覇市久茂地3-24-14
TEL (098) 867-2526
FAX (098) 866-1037

編集後記

今年の天候は驚きだ。水不足かと思えば災害級の豪雨、あっという間に梅雨明け、そしてこの酷暑である。しかし我が後輩達はこの状況でも変わらず、いやそれ以上の活躍である。本当に遅しく且つ誇らしい。そして今回も皆様から会報30号発刊に多大なご協力を賜り感謝申し上げます。揺るがぬ絆、更なる活動充実をこれからも！

広報委員長 新島 郁子

城岳同窓会の終身会費について

一般社団法人城岳同窓会は会員相互の親睦を図るとともに、那覇高等学校の発展に寄与すること及び地域社会に貢献する事を目的としております。また、本会の経費は会員の拠出金、寄附金、事業収益金及びその他の収入をもって充てております。

さて、会員の拠出金は、年会費1,000円または、終身会費5,000円によって賄われております。年会費を一括で5,000円を納入した場合は、終身会費と見なし、以後年会費は徴収致しません。伝統校の誇りと自信に満ちた校風の継承と発展の為、同窓生一人ひとりの積極的なかわりごとご芳志をお願い致します。

振込先 琉球銀行桶川支店 店番号 314 口座番号 普通 338301

口座名義人 一般社団法人城岳同窓会 会長 宮里 博史 (ミヤザトヒロシ)
ご芳名の前に卒業期をご記入下さい。

問い合わせ 一般社団法人城岳同窓会 事務局 與儀 幸英
〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1丁目21番53号 TEL (FAX) : 098-867-2525

城岳同窓会館のご案内

「母校に同窓会館を」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年に実現しました。会館は同窓会員の親睦の場です。会員のみなさん、どうぞご利用下さい。

- ・ 2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室及事務室
- ・ 3階は会員のクラス会、会議、趣味の集まりなどに利用でき、収容人員は50人です。なお、使用料金（光熱費）は1団体：1時間1,000円です。
- ・ 4階は自学自習室として、3年生が活用しています。

編集発行 一般社団法人 城岳同窓会

〒900-0014 沖縄県那覇市松尾1-21-53 電話・FAX 098-867-2525

事務局 E-mail:yogi@jogaku.or.jp

城岳同窓会ホームページ <http://jogaku.or.jp>



琉球大学でいご会

理事 金城 寿 (41期)

「琉球大学でいご会」
連絡先 〒903-0215 西原町上原 207 番地
琉球大学上原キャンパス事務部学務課内
TEL: (098) 895-1078 FAX: (098) 895-1092
自宅 〒903-0821 那覇市首里儀保町 1-35
TEL 090-1870-1636



TAMAKI GROUP

環ハウス株式会社

昭和 55 年創業 総合不動産

「地域に密着した親しみやすい企業」



環ハウス 那覇市壺川 1-12-8 ☎098-831-9293